



社団法人 電波産業会
 Association of Radio
 Industries and Businesses

No.769 2011年1月17日

ARIBからのお知らせ

ARIB 機関誌 No.72 発行のお知らせ

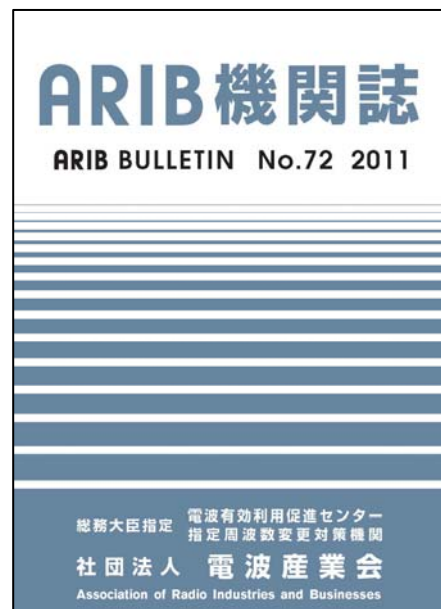
1月12日付で ARIB 機関誌 No.72 を発行しました。
 本号は新年号であり、総務省情報流通行政局長、総合通信基盤局長及び ARIB 会長からの「新年のごあいさつ」を掲載しています。

また、トピックスには 5 件の技術解説記事を掲載しました。

「ARIB 活動報告」には、いつもの活動報告に加えて、電波産業年鑑 2010 の発行記事及び「CEATEC JAPAN 2010」ARIB 出展報告記事も掲載しました。

なお、本号の電子ファイルを「[ARIB会員のページ](#)」の「ARIB機関誌」にアップロードしておりますので、あわせてご活用ください。

ID、パスワードが不明の方は ARIB 会員連絡窓口の方にお問い合わせ下さい。



ARIB 機関誌 No.72 のトピックス

No.	タイトル	執筆社
1	ISDB-Tmm 方式によるマルチメディア放送の概要	株式会社マルチメディア放送
2	3D方式の標準化と高画質化へのパナソニックの取り組み	パナソニック株式会社
3	950MHz 帯中出力型パッシブタグシステム (ARIB 標準規格 STD-T100)	社団法人日本自動認識システム協会
4	狭帯域デジタル無線機における画像伝送システムの開発	JVC・ケンウッド・ホールディングス株式会社
5	ZigBee テレコムサービスプロファイル準拠 位置推定機能・文字情報提供機能実装デバイスの開発	沖電気工業株式会社

「MMAC フォーラム講演会 2011」開催のお知らせ

マルチメディア移動アクセスフォーラム（会長：齊藤忠夫、以下「MMAC フォーラム」という。）では、マルチメディアを「いつでも、どこでも」取り扱うことができ、光ファイバ等とシームレスな接続が可能で、持ち運びできる超高速・高品質な無線アクセスシステムであるマルチメディア移動アクセス（MMAC）の開発を目標として、調査研究、システム仕様検討、実証実験、情報交流及び普及啓発活動等を行っております。

このたび MMAC フォーラムでは、無線アクセスシステムの可能性を広く知っていただき、MMAC の一層の活性化に役立てられるよう「MMAC フォーラム講演会 2011」を開催いたします。

ぜひご参加下さいますようにご案内申し上げます。

- 1 日時 : 2011年2月9日(水) 13時30分より(受付開始:13時00分～)
- 2 場所 : [明治記念館 蓬莱の間 \(東京都港区元赤坂 2-2-23\)](#)
- 3 主催及び後援 :
主催: [マルチメディア移動アクセスフォーラム](#)
後援: [社団法人電波産業会 \(ARIB\)](#)
協賛: [IEEE 東京支部](#)
- 4 プログラム :
 - (1) 「Opportunities for future home networks with IEEE 802.11ad」
豊田一彦 (日本電信電話株式会社 NTT 未来ねっと研究所 主任研究員)
Thomas Derham (フランステレコム株式会社 Orange Labs Tokyo 主任研究員)
 - (2) 「IEEE 802.15.6 ボディエリアネットワーク (BAN) の標準化動向」
李 還 幫 (独立行政法人情報通信研究機構 新世代ワイヤレス研究センター医療支援 ICT グループ 主任研究員)
 - (3) 「スマートグリッドを実現する IEEE 802.15.4g 標準化動向」
原田博司 (独立行政法人情報通信研究機構 新世代ワイヤレス研究センターユビキタスマバイルグループ グループリーダー)
 - (4) 「IEEE 802.11s 無線 LAN メッシュネットワークの標準化動向」
迫田和之 (ソニー株式会社 システム技術研究所 通信研究部 CCT Gp.)
 - (5) 「広域ユビキタスネットワークの最新動向」
加々見修 (日本電信電話株式会社 NTTアクセスサービスシステム研究所第三推進プロジェクトユビキタスサービス推進 DP ディレクタ)

(注) 講演者名、テーマ等は調整中であり、今後変更する場合があります。
- 5 参加費 : 講演会、意見交換会とも無料
- 6 参加者 : 280名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 7 申込先 : [当会ホームページの「講演会等開催案内」](#)から申し込みをお願いいたします。
[MMACフォーラムホームページ](#)の「最新情報」にも申し込み方法を掲載しております。
- 8 問合せ先: MMACフォーラム事務局 (社団法人電波産業会内) TEL:03-5510-8594
和智・清水・斉藤 (mmac2011[a]arib.or.jp)
(スパムメール防止のため、「@」を「[a]」に換えて表記しています。)

「ETS-Ⅷ利用実験成果発表会」開催のお知らせ

ETS-Ⅷ利用実験実施協議会は、2006年12月18日に打ち上げられた技術試験衛星ETS-Ⅷを利用して、これまで4年間にわたって様々な分野のアプリケーション実証実験（利用実験）を実施してきました。

その対象は、災害対策・遠隔医療などの「安心・安全」、海洋資源探査、通信方式検証、測位・観測、遠隔教育、映像伝送など種々の分野に広がっており、結果として世界初の実験成功を含めて各々の実験において大きな成果をあげてきています。

そこでこれまでの利用実験活動の集大成として、その成果をより広く公表することを目的に首題成果発表会を開催いたします。

各実験実施機関の方々から、各々の実験の実施状況と成果について発表いただきますので、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 1 日時 : 2011年1月25日(火) 15時から17時45分まで
- 2 場所 : 社団法人電波産業会 会議室 (千代田区霞ヶ関1-4-1 日土地ビル11階)
- 3 主催及び後援 :
主催: ETS-Ⅷ利用実験実施協議会
後援: 総務省、独立行政法人情報通信研究機構、独立行政法人宇宙航空研究開発機構、日本電信電話株式会社、社団法人電波産業会 (予定)
- 4 プログラム : [当会ホームページの「講演会等開催案内」](#)をご参照ください。
- 5 参加費 : 無料
なお、発表会終了後同場所にて懇親会(会費制 2000円程度)を予定しています。
どなたでもご参加いただけますので併せてご案内します。
- 6 定員 : 一般公開 60名程度(定員になり次第締め切らせていただきます)
- 7 申込先 : [当会ホームページの「講演会等開催案内」](#)から申し込みをお願いいたします。
- 8 問合せ先: ETS-Ⅷ利用実験実施協議会事務局(社団法人電波産業会内)
近藤、法橋(hohashi[a]arib.or.jp) TEL: 03-5510-8593
(スパムメール防止のため、「@」を「[a]」に換えて表記しています。)

ARIBの動き

第169回業務委員会を開催

第169回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 2011年1月12日(水) 午後2時から3時20分まで
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 主な議題
 - (1) 「標準規格に係る著作権の取扱いに関する基本指針」の制定
 - (2) ETSIとの協力関係の強化
 - (3) 第22回電波功績賞表彰候補者の推薦依頼
 - (4) 平成22年電波利用懇話会の開催状況

地上デジタル放送伝送路符号化作業班 主任 高田政幸
(日本放送協会 放送技術研究所
放送ネットワーク研究部 主任研究員)



現在、デジタル放送システム開発部会 地上デジタル放送伝送路符号化作業班 主任を仰せつかっております NHK 技研の高田です。

本作業班は、2009年11月の開発部会で設置することが承認されました。所掌事項は、主に ISDB-T をベースとした移動体携帯端末向けマルチメディア放送の伝送方式の新規規格の策定ですが、将来の地上系伝送路符号化に関わる審議や ITU-R 対応の審議なども含まれています。207.5~222MHz (VHF-High 帯) を使用する地上マルチメディア放送 ISDB-Tmm の伝送方式に関しては、2010年11月5日に ARIB STD-B46 1.0 版として策定しました。90~108MHz (VHF-Low 帯) を使用する ISDB-Tsb の伝送方式に関しては、省令改正の電監審諮問を待っている状態です。

ところで私は、NHK 技研所属約 20 年になります。その間、FM 多重放送や地上デジタル放送などの伝送方式や受信改善方式の研究を行ってきました。新たな伝送方式の実用化のためには、標準化が必須で、国内標準化のためには ARIB は極めて重要な組織であります。私はこれまで開発部会、受信機作業班、普及活動作業班 (DiBEG) などの委員や、AC 伝送路符号化 TG、緊急情報伝送 TG、7.8MHz 諸国対応 TF などのリーダーを務めました。地上波メディアの伝送を中心に ARIB と深く関わってきましたが、作業班主任となったのは今回が初めてです。放送システムの伝送規格は主に送信側の規格であり、放送局側のメリット、設備との互換性、システムの有益性などを考慮するだけでなく、受信側からの検討など、総合的にバランスよく評価、規格化していく必要があります。そのためには作業班委員の皆さんからのご意見やご協力を得ながら進めていきたいと考えています。

技術は常に進化しています。研究では常に新しい技術を求め、開発していきますが、標準化とはそのときの最良の技術を規格にすることだと考えています。受信機コストや他システムとの共用化を考慮して従来利用されている技術を規格化する場合や将来のコストダウンを考え最新の技術を規格化する場合もあると思いますが、悔いが残らないよう、世の中に使われるよい規格を標準化していきたいと思えます。

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp